

# ジャンベ公演盛大に 児童30人とセッション

伊 佐

西アフリカの伝統打楽器・ジャンベを用いたコンサート「たのしくアフリカン」が、伊佐市環境改善センターであった。ジャンベ普及に取り組む「アフロ de MISHIMA」が出演し、地元小学生も合同演奏で参加。約200人の観衆は独特のリズムに乗りながら、激しく情熱的な舞台を満喫した。

日ごろコンサートに縁遠い幼児や子育て世代、高齢者を対象にした聴衆参加型のミニコ



飛び入りで踊る舞台の観客に驚きながら、ジャンベを演奏する児童たち＝伊佐市菱刈前目

ンサートを定期的に実現がくたい」実行委員  
施している「いさのお会が13日開いた。

この日のステージは冒頭からエンジン全開。「アフロ」リーダーの徳田健一郎さん(44)が観衆を引き込み、楽器の紹介を挟みながら、メンバー11人がアフリカの祭りや儀式で奏でられる音楽や踊りを披露した。

最後は、コンサートに先立って訪れた大口、本城両小学校の児童ら30人がジャンベ演奏で参加。大口小6年の舞蘭烈翔君(12)は「太鼓は音階がなくて誰でも演奏できるのがいい。すごい盛り上がりで、夢中になって太鼓をたたいたから手が痛い」と笑顔を見せた。

(堀 巨)